★ 声を集めて。くらしコープを大きく強く。★

紫式部

2022年
3月
No.234

紫式部版

春のつどい

くらしコープの活動から「協同組合と地域福祉」を考える

3年目に入ったコロナ禍。未だ、コロナ感染者数の報道が続く日々です。本部でのサロン・サークル活動や恒例の行事も出来ないまま。特に今年は創立20周年という記念すべき年だというのに。

しかし、「コロナだから仕方がない」「コロナだから何もできない」ではなく、「どんなことならできるだろう」ということを考えていく必要があるのでは。

それならば、みんなで集まることが難しいなら、いっそ紫式部の誌上で「春のつどい」をやろうというのが3月号の特集です。

毎年、「春のつどい」では学習会をしていました。今回は大谷大学教授の平尾良治さんに、福祉を学ぶ学生さんのゼミで「協同組合と地域福祉」のテーマで、くらしコープの活動について研究していただきました。

老若男女を問わず孤立しがちな今だからこそ、つながることの大切さを痛感します。

紙面を通して、いろんな組合員さんの顔を思い浮かべながら紫式部版「春のつどい」に参加していただければと思います。

▲2019年の春は「生協創立5周年・京都高齢協設立から17年」記念のつどいとして開催。

目次

《特集》紫式部版「春のつどい」若者から見たくらしコープ 1
事業所だより 4
NPOくらしコープだより「4月～12月財務状況、他」
「居住支援法人の活動が京都新聞に掲載」 6
ごみに見る私たちのくらし｜神谷潔 / 読者文芸 7
手話クイズ「紅茶」/ ナンバープレイスクイズ 8
成年後見制度のあれこれ「法定後見編（その2）」 9
食養生と野草により改善｜阿部ひろ江 10
無言有音「人生と音楽」
②浅沼稲次郎の死去とベートーヴェンの交響曲第6番「田園」
清少納言「なぜか　うすら寒い」 11
読者文芸 / 編集後記 12

京都高齢者生活協同組合くらしコープ
暮らしの助け合いをひろげ、安心と輝きの高齢社会をつくろう

創立20周年
準備企画

将来の高齢者？

若者から見たくらしコープ

～大谷大学「地域福祉論」の協働自立学習から～

受講生90名ほどの「地域福祉論」という科目を担当しています。

学生たちに主体的に学んでほしいと考えて協同自律学習と名付けたグループ活動（4～6人）主体の授業です。司会係・記録係・情報係などの役割を分担しつつ、自分たちで調べたテーマを報告し、他のグループからの問いかけで授業内容を深めます。

1月は「協同組合と地域福祉」がテーマでした。社会保障に地域福祉を位置づけ、地域の諸団体の福祉活動の課題と展望について考えたのですが、学生が回答に窮する質問もありました。そこで先日、「くらしの助け合いを広げ　安心と輝きの高齢社会をつくろう」という見出しの「くらしコープ」の総代会議案書（2021年6月37日）を示したところ、つぎの回答をまとめました。「くらしコープ」の組合員さんの厳しい目で点検してみてください。

若者の学び①
利潤を追求しないで？

設問1

協同組合（くらしコープ）は利潤を追求しない組織とありますが、事業の全体の資金はどうなっているのですか？

協同組合は設立目的を達成するために事業・活動をおこないます。そのための資金を組合員が出資をします。協同組合はその出資金をもとに必要とする商品・サービスを組合員に提供することが目的ですから剰余が出たときには組合員に還元（組合員活動費）します。また組合員の民主的な運営で事業の健全運営に努めています。

▶ゼミ風景

◀くらしコープが場所を提供して取りくまれている、地域の「子ども食堂」。組合員さんや学生ボランティアも参加。コロナ禍で今はフードパントリーとして食品等の提供をしています。

若者の学び②
団体・地域との連携は？

設問2

生協（くらしコープ）・農協・漁協などの協同組合は組合員の互助活動・事業を行っていますが、他の団体の人や地域の人々とどう連携していくのですか？

協同組合は各分野の事業に取り組み互助を行いますが、互助にとどまることなく地域の生活問題解決に向けて相談活動を大切にしながら、組合員と地域住民、行政や関連諸団体と連携をすすめます。そして国の社会保障制度の不備・不足を運動として課題提起します。

若者の学び ③

活動は地区外？

設問3

生協（くらしコープ）活動は、「地区外のもの」と認識されがちですが、それに対してどのような活動・対策を行っていますか？

住民が自分の地域と考える範囲は、多くの場合小学校区よりも狭いものです。協同組合は都道府県単位で運営されており、組合員数が少ないこともあって活動が知られていないため、「地域外」の団体としてみられることが多いのも事実です。あらためて組合員拡大、広報活動、他団体との連携に力を入れるなど、地域住民の方々の理解をすすめる必要があります。

大谷大学社会学部 教授
平尾 良治さん
（ひらお りょうじ）

1957年広島県生まれ。同志社大学大学院文学研究科修士課程修了。文学修士。
京都生活協同組合で共済・福祉担当として「京都生協 くらしの助け合いの会」設立、本部コーディネーターを担当。その後、大阪千代田短期大学幼児教育学科、滋賀文化短期大学人間福学科、びわこ学院大学教育福祉学部を経て2018年から現職。
各地の福祉のまちづくり活動に参画。

エピソード

卒業ゼミ生の祖母の言

この春卒業するゼミ生が「高齢者の孤独防止とシェアハウス」を出発点にして卒業論文を書きました。その糸口となったのは、「この地域も近所づきあいがなくなって、寂しい思いをしている人、困っている人がすごく増えてきた」という学生の祖母の一言でした。積極的に地域活動をしていた祖母。祖母の活動をいつも見聞きしていたゼミ生は、若者が地域に貢献できることはないかと考え始めたのです。そして高齢者向けのシェアハウス、ひとり親世帯も入れるシェアハウス、京都のソリデール事業へと視野は広がりました。学生と高齢者の次世代ホームシェア事業の先駆的な取り組みを我が事のように語っていました。

課題と方向性が見えると行動も変化します。4月から働く福祉現場から「くらしコープ」の活動に熱い視線を向けることでしょう。

▲新聞に幾度も取り上げられている京都府及び京田辺市のソリデール事業

【むすび】

ゼミ生とその祖母のように、いつでも先駆者・自覚者の粘り強い取り組みは周囲の人の気づきを促します。そして地域社会をゆっくりと変えていきます。

このコロナ禍で大きな打撃を受けられたことと思いますが、結成20周年を迎えられた「くらしコープ」には、いまこそ真価を発揮していただきたいと思います。「くらしコープ」の事業・活動の継続と発展は、地域での「助け合い」「連帯」の素晴らしさを示すだけではなく、地域で「小さく」させられている人々に希望と勇気をあたえています。

今後も京都の社会保障充実に向けた幅広い事業と運動に期待しています。

３月の事業所だより

介護支援センター
紫野きらく庵

お塩の誘惑にご注意を!!

森本照美

新型コロナウイルスで問題になっているのが、持病をお持ちの方。

「病院で先生に血圧がちょっと高いから軽い血圧の薬を薦められたんです」と、こんな声をよく耳にします。

塩分の摂りすぎは、高血圧症・脳卒中や心臓病、動脈瘤などの病気になる可能性を高めます。このような病気の予防をするために、塩分を考えましょう。

「塩との上手な付き合い方」が大切です。おいしそうな料理。あれもこれも食べたくなりますが、その料理にどれくらいの塩分がふくまれているのか？

塩分量のトップに上げられるのが、カップ麺・うどん・ラーメン等のスープ！

「解っているけど」「もったいない」等で、ついついを飲んでしまいがちですが、塩分量の半分以上がスープに潜んでいます。

調理の工夫を！

うま味や酸味などの味付けの工夫で、塩味に頼らない調理も可能に。少しの工夫を加える事で減塩してもおいしく食べられます。

塩分の排出を促す「カリウム」を一緒に取りましょう！

ミネラルの一種であるカリウムは人体に必要な栄養素の１つ。野菜・海藻・イモ類の他、果物や納豆などにも多く含まれています。

皆様、元気で楽しい健康な長～い人生を☺

訪問介護
ゆず

コロナ禍において…

松村直美

コロナ以前は、スポーツクラブにてスタジオで汗を流すのが趣味で、毎日のように通っていましたが、コロナが拡大してからは休会中です。

でもやっぱり、運動しないとストレスは溜まるし、体重は増えるしで…

スポーツクラブでの友達に連絡を取ると、ヒンシュクをかいながらも、家で踊ってるでとの事。それを聞いてからは私も、YouTube を見ながら、ラジオ体操に始まり、ヨガ、ZUMBA、エアロ等、その日の気分で汗を流しています。（家族のヒンシュクをかいながら…）これならジムに行かなくても汗をかけるな！とも思いましたが、やっぱりスタジオでみんなと一緒に汗をかく臨場感は行かないと味わえないなと思いました。早くスポーツジムに行ける日を願いながら日々汗を流しています。

３月の事業所だより

きらく庵 デイサービスセンター 西陣

寒い―そうだ！デイ！行こう！

稲岡文代

「おはよ～寒い！いつまでこんなに寒い日が続くの～」と二言目には「寒い寒い」と。毎日デイでは朝の挨拶が行われています。

先日みんなで「自分の名前は誰がつけてくれて、どんな由来があったのかな～」と話をしていました。そこで、おもしろ珍回答が☆「わたし！」とおっしゃりみんなで大爆笑～「おぎゃー」とうまれて「〇〇！」と勢いよく名前を言って飛び出してこられたのか？と想像が出来てしまったからまたなお楽し！

「家から学校までの通学路を紙に書いてみよう！」では、記憶がどんどん蘇ってきて、鉛筆がすいすい。「好きな人の家にはハートを書いておこうか」などこれまた楽し☆

毎日「コロナ感染者何人！」「芸能人が不倫した！」と騒ぐ世の中ですが。きらく庵ではこのようなのほほ～んとした時間を過ごしています。

あっという間に帰る時間。「今日も笑った～。家にいると一言もしゃべらんと終わる日もあるな…」とポツリ…。

デイに来て、いっぱい喋って、いっぱい笑って楽しい時間を過ごしていきましょう！

生活支援

お片付けも、転倒骨折リスクの削減策のひとつです！

江尻茂朗

◆周りで、つまづく方は居られませんか。つまづくだけで済めばセーフですが。転倒した場合、骨折し、手術、入院、要介護にいたるケースは少なくない。東京消防庁調べ転倒場所別では、65 歳以上の転倒者の５割以上が住宅内だそうです。転倒原因はスリップ、つまづき、ふらつきです。また、摺（す）り足ぎみの方、食事に偏りがある方、神経細胞のニューロンが減少して脳の信号が筋肉に充分伝わらない方に、再転倒される方が多いそうです。

◆組合員アンケートでは、整理・片付けを考えてる方が多数ありました。「そのうちに」という気持ちはあるものの、踏み出せない。室内の片付けは動けるうちが好機といえます。安全に暮らせる家づくりを目標として片付ける事から始めてはいかがでしょうか。まずは、生活動線（移動コース）から片付けておくと危険箇所の発見につながり、より転倒リスクの削減になるそうです。

◆片付けでは、立ったり座ったりの動きは、筋肉トレーニングのスクワットの様なものです。一人でやり続けるのは難しいです。だから片付けのノウハウを知り、一年くらいのスパンで取り組みましょう。思い出の品々は後回しでいいんですよ！

くらしコープでは、片付けのお手伝いをしています。お気軽にご相談くださいませ。

NPO法人 くらしコープだより

▼4月から12月までの財務状況について

・12月は職員さんへの賞与が支給されたこともありますが、例年、多くの仕事を下請けさせてもらっている廃品業者さんが、コロナウイルス感染によって仕事量が激減したため、当法人もその余波で、そこからの依頼額が4割も減ってしまいました。

・挽回するため、こまめな営業をするなど、アンテナを張って受注の確保に努めています。

お片付けや清掃などのお仕事を紹介してください！

4月から12月までの財務状況

※コロナ禍の影響を受けて前年度対比66%の収入

収入	支援収入	5,230 千円
	居住支援収入	2,785 千円
	その他	1,182 千円
	収入　計	**9,197 千円**
支出	人件費	7,716 千円
	物件費	1,531 千円
	支出　計	**9,247 千円**
剰余金		▲ 50 千円

▼4月～12月までの居住支援の相談状況について

・過日、京都新聞の記者さんから取材を受けました。（下欄）

・20人の方から相談を受けましたが、そのうち、生活保護費を受給されているなどの低額所得者が16人にも及んでいます。所謂高齢者ばかりではなく、職が見つからない30代、40代の方も多く、弱者にしわ寄せがきている日本社会の深刻な実態が浮き彫りになっています。また、生活保護費の「住宅扶助」の上限が4万円とされていますが、不動産業者に、「家賃4万以内のアパートを探すのは至難の技や！制度を変えないと」と言わしめています。弱者にやさしい経済政策が強く求められています。

▼空き家を使っての情報が少しずつ寄せられています！

以上のような厳しい中にあって、「親が使っていた家が空いたので使って～」といった嬉しい情報も届いています。どの程度改修が必要か、その費用は？など、まだまだ課題はありますが、貴重な資源を活用できないか、知恵と工夫が求められています。

この居住支援事業に参画されるスタッフを求めています！！！

《おわびと訂正》

2月号（6ページ）「居住支援の相談事例」に「昨年4月から12月までの相談件数は119にも及ぶ」とありますが、正しくは「19」でした。おわびして訂正します。

居住支援の取り組みが京都新聞で紹介されました！

京都新聞、2月2日の朝刊「取材ノートから」のコーナー。住まいの確保が難しい人へ賃貸住宅への入居相談や家賃債務の保証を手掛ける支援を行っている「住宅確保要配慮者居住支援法人（居住支援法人）」についての記事。NPO法人くらしコープの居住支援事業についても写真付きで紹介されました。

取材ノートから
記者 太田 敦子
居住支援法人の法動法義化
入居後も見守り安心を

住まいに困った方、ご相談下さい！

居住支援事業専用電話

075（205）5512

（月曜日～金曜日 10時～17時）

担当：福島広志　江尻茂朗
石澤春彦　福尾泰樹
余根田保

住まいを提供して頂ける方、ご連絡下さい！

ごみに見る私たちのくらし 5

スタジオ北山山荘 神谷 潔

プラスチックに包まれたくらし

重さでは紙や厨介に負けますが、容積ではプラスチックがごみ袋の中味の主役です。

プラスチック類は「おもちゃ・日用品・文具などの商品」「スプーン・ストローなどの使い捨て商品」「容品・包装材」の３つに分別した後、「容品・包装材」は「プラボトル・カップ・パック・トレー…」などと76種まで分別します。

京都市では2006年10月から「有料指定袋制」となり、容器包装プラスチックは「資源ごみ」として透明袋で収集するようになり、「燃やすごみ」はそれまでの水色から黄色の袋に変わると、私の「燃やすごみ」の量は以前の１割近くまで激減しました。私たちのくらしがいかにプラスチックに包まれたものであったかを痛感したものです。

この有料指定ごみ袋の販売利益の使い道に問題ありと２年前に「ごみ袋の値下げを求める運動」が起き、私も署名にサインを求められましたが、「月に百円、年に千円も購入しないので、高いとは思わない」「順調に減少してきたごみの量が最近横ばいに、むしろ値上げすべきでは」とお断りしました。自身の負担減に反対するどころか、負担増を主張する人間は理解していただけないようで、あの異星人を見るような視線は忘れられません。

次回は「紙くずは資源です」

▲「レジ袋有料化で減ったはずだが数えると97枚」

１月号（９ページ）の本連載記事4に脱落がありました。次の通り訂正します。

訂正箇所　２段落目最後の文章

誤「生産された食品の３分の１」は事実だと確信しました。

正「生産された食品の３分に１はごみに」と言われます。

家庭ごみを見る限り疑問でしたが、後に紹介しますスーパーやコンビニから出る「手つかずの食品」の量は桁違いで、これは事実だと確信しました。

読者文芸

傘寿の呟き

吉岡英二

一、
傘寿を迎えた
まさかここまで生きれる
とは
何年か毎に病に倒れ
胃癌が見つかった時は
俺の人生
これ迄やと思ったものだ。

一、
これからは傘寿の山を背
負って歩く
山は小さい時から馴染ん
でいる
生活の支えの為に入った
その山が忘れられない
山となり
山を描いて賞を貰った。

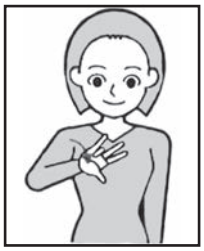
一、
山は憧れであり
学びの場
憧れのスイスの山も歩いた
人生は不思議だ
その日を生き抜くのに
せいいっぱいだった
俺の人生。

一、
傘寿になっても
心は少年のままだ
大人になれなかった
未熟な大人
人は老いると
子供に還るというが
俺は半分子供のまま
生きてきた。

一、
傘寿を迎えて
山は背負わず
山と友に歩いていこう
馬年の一月に生まれた
蛇がかかった変わった男。

「手話」クイズ

◆「紅茶」の手話はどれでしょう？



③

指文字「ウ」と「ヤ」を同時に示した手形を作り、親指を下へ傾ける。

②

丸めた左手５指の上で下に向けてつまんだ右手２指を回す。

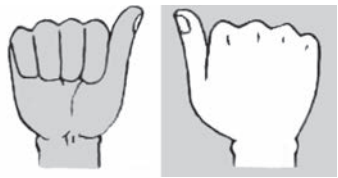
①

５指を丸めた左手の上で右手のつまんだ２指を２回下ろす。

（回答10ページ）

指文字

「A」



親指を伸ばして握る。”a“の形を作る。

手話

３月の予定 ★カレンダー参照★

本部１階ホール

※毎月 第１・第３・第５木曜日

サークル

ナンバープレースクイズ

		4				5		
	2			8			1	
3			4		5			7
		6		1		9		
	1		7		8		3	
		7		4		6		
2			1		3			6
	4			5			8	
		3				2		

ルールは

①空いているマスに１から９までの数字のどれかを入れます。

②タテ（９列）、ヨコ（９列）、太線で囲まれた３×３のブロック（９マスのブロックが９つ）のどれにも１から９までの数字が１つずつ入ります。

《出題　寿》

望む人みんなが
マイホームを
持てるように

高価買取
いたします！

☆新築分譲
☆注文住宅
☆リフォーム
☆中古住宅売買
☆店舗
☆賃貸 etc.

（株）京都建設センター
（京都高齢者生協くらしコープ近く）
〒603-8232
京都市北区紫野東野町１６番地エムティビル１階
TEL075-495-6306 FAX075-495-2009
メールアドレスyoto.kc16@adagio.ocn.ne.jp
ホームページ　http://kyoto-kc.co.jp

保険のことならなんでもご相談下さい！
（有）関西総合保険事務所京滋店
〒604-8222　中京区四条通室町西入上る
観音堂町４６６　みやこビル２階
TEL(075)222-2267　FAX(075)708-2380
携帯(090)1242-1844
担当 蒲池（かまち）英昭（ひであき）

行政書士・福島広志の

成年後見制度のあれこれ

法定後見編（その２）

◇後見人の職務とその候補者

申立書の書式には、「後見人候補者を記載する」欄があります。

後見人の職務は、「財産管理」と「身上監護」です。「財産管理」とは、現金や預貯金の入出金を管理することです。また、本人名義の貸家や駐車場があれば、賃料を回収するとともに、物件を維持管理することです。注意すべきは、本人の財産と後見人の財産を混同しないことです。また、なによりも本人の生活が豊かになるよう管理することが大切だと思います。ややもすれば、「財産が減らないように」と考えて、後見人と本人の親族との間でトラブルことがままあるとお聞きします。

「身上監護」は、入院の手続きをする、住まいを確保する（アパートの賃貸借契約を結ぶ）、施設等への入所手続きをする、と言ったことが挙げられます。

本人のために必要な諸契約に関わることと考えても良いと思います。部屋の掃除をしたり、食事を用意したりといった身の回りのお世話については、ヘルパーさんのお仕事と考えられています。

後見人の職務を遂行できる方であれば、親族や知人など、専門職（司法書士、弁護士、社会福祉士など）でなくても支障はなく、後見人候補者として申立書に記載することができます。

◇後見人が選任される（必要とされる）具体的な事例

後見開始を申し立てる動機としては、「本人が預貯金等の管理ができなくなったから」というのが最も多いと言われています。その他には、「施設に入所する（入所契約を結ぶ）ため」、「不動産の処分（売る、貸す）をするため」といったことが挙げられます。

〈例その１〉預貯金を払い出したり、解約の手続きをする場合

知的障害のあるAさんは、高齢のお母さん（Bさん）と一緒に暮らしていますが、そのBさんが大腿骨を骨折して入院してしまいました。そこで、Bさんは、隣町に住んでいる娘のCさん（Aさんのお姉さん）に、「A名義の預貯金から当面の生活費を引き出してきて」と依頼しました。Cさんが銀行に出向きますと、「ご本人以外の方が払い出される場合は、委任状が必要です」と言われました。Cさんは、「弟は知的障害があって…」と告げたのですが、窓口の行員さんから「弟さんの預貯金を払い戻す場合は、成年後見制度を利用して頂くことになるんですよ」と言われました。

〈例その２〉以降、次号に続く。

青木はり治療院　はり専門で職歴50年
心身の疲れ・肩こり・腰痛などでお悩みの方は…
＊診察時間（日曜休診）
月～水・金 9～14時・17～20時
木 9～12時・17～20時
土 9～12時
aoki-hari.pro
AOKI
075－801－8474
京都市中京区西ノ京永本町20-14　＊駐車場あります

安心できる市民生活に向けて全力投球！
相続、遺言など暮らしの中での困りごと、
各種書類の作成などお気軽にご相談ください
福島行政書士事務所（京都市北区小山下初音町24）
TEL 075(494)0050
FAX 075(494)0025
E-mail：shortstop0213@gmail.com
月～金　午前9時半～午後5時半

食養生と野草により改善

阿部 ひろ江

９年前に韓国舞踊で膝を痛めた時は周囲の反対を押し切ってエチオピア、ウガンダに２週間歌いに行って歩き回って思いがけず治った。でも去年秋又痛めてからはさすがに治りが悪い。根気よくやります。

数年前に舌痛になったが、西洋医学の病院は何もしてくれず、漢方医院に通い始め鍼灸が一番即効性があった。それでも治るのに数年かかった。おそらく年齢に対してオーバーワークで、今も飛び回っているけれど、なんとか自分のペースを掴んだのかな。

去年の冬は高血圧から動悸がして胸も痛く、周囲も心配して色々血圧に対して食養生や自然療法を教えてくれ結構頑張った。それでも手術を勧める人もいたりして心配になり、心臓内科を受診したら異常はなかった。

この冬は冷え込んだので心配していたが動悸は全くない。しかも長年している気功のお陰で最近手は温かいのだが、この冬は足まで温かい！何故なんだろう。わたしは数年前から野草を食べている。冬場は少ないが暖かい時期はほぼ毎日何か野草を摘んで料理に加えている。又料理に生姜、にんにく、自家製陳皮（みかんの皮を干した物）は加えるし、場合によってはクコや松の実も加える。今71歳だが数年前や去年より健康状態は良くなっている。まだまだ努力次第で良くなる、と自信を持った。又、コロナが蔓延し出してからも、喉が痛くなったり何度か微熱が出たが、すぐに病院に行かずに念のために自宅にこもって生姜入り本葛湯や自家製金柑蜂蜜、大根蜂蜜を飲んで、ひたすら寝ながら自分で首の凝りを取ったりしていると大体治る。

若い頃自然療法を勉強したことがあったが、今は気功を教えていることもあって、中医学を少し勉強したいと思っていて昨日１回目に参加。その思いがけない最大の収穫は脈診習得。漢方医院でいつも診て下さるのだが、何故わかるのだろう？と思っていたのだ。昨日の診断によれば心、肝、肺、脾の脈は強く、腎は弱っている。腎はどうしても弱るそう。補腎するにはどうしたらいいのかな？胡麻は食べているし、夜、翌朝のご飯を仕掛ける時は、小豆も入れているが。後、冷やさないことかな。

あと、脈が跳び跳ねているような感じなのは、やはり高血圧の関係なのだろうから、やはりできるだけ下げた方がいいのだろう。お互いに脈を診ていて驚いたのは、わたしより若い人たちの手が冷たかったこと…

中医学、これから学ぶには奥が深すぎる。やはりわたしには野草かな。昨日頂いた薬膳菓子はサンザシ、なつめなど使った物で、美味しく、如何にも効きそうやった（写真）。どくだみ、桑などの野草茶も美味しかった。

【手話クイズ回答】

①**紅茶**　ティーバッグを上下に揺らす仕草から

②**コーヒー**　カップを持ちながらスプーンでかき混ぜる様子から

③**ウーロン茶**　指文字「う」とお茶を注ぐ仕草から

【ナンプレ答え】

8	7	4	6	3	1	5	9	2
6	2	5	9	8	7	3	1	4
3	9	1	4	2	5	8	6	7
4	3	6	5	1	2	9	7	8
9	1	2	7	6	8	4	3	5
5	8	7	3	4	9	6	2	1
2	5	8	1	9	3	7	4	6
7	4	9	2	5	6	1	8	3
1	6	3	8	7	4	2	5	9

♪ 阿部ひろ江　3月エイコンズ予定 ♪

★唱歌を歌う会★

★易しい英語で楽しく話そう★

共に随時開催

問い合わせ　☎075(493)2983

井上吉郎の無言有音（むごんゆうおん）

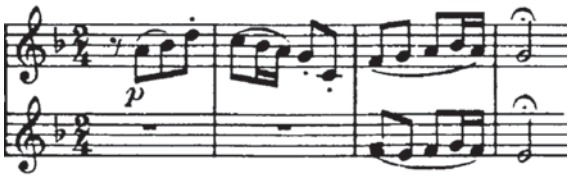
人生と音楽 2

浅沼稲次郎の死去と
ベートーヴェンの交響曲第6番「田園」

日本社会党委員長の浅沼稲次郎（あさぬま いねじろう）は、1960（昭和35）年10月12日に東京都千代田区の日比谷公会堂で演説中に、17歳の右翼・山口二矢（おとや）に刺殺された。60年に就任し、総選挙を目前に控えたこの日、自民・社会・民社三党党首公開立会演説会中の事件だった。〈ひたすら歩むことでようやく辿り着いた晴れの舞台で、六十一歳の野党政治家は、生き急ぎ（死に急ぎ）、閃光のように駆け抜けてきた十七歳のテロリストと、激しく交錯する〉（沢木耕太郎「テロルの決算」）。

短刀を手にした右翼少年・山口が、演壇に立つ浅沼に向かって駆け上がる。〈浅沼の動きは緩慢だった。ほんのわずかすら体をかわすこともせず、少し顔を向け、訝しげな表情を浮かべたまま、左脇腹でその短刀を受けてしまった。短刀は浅沼の厚い脂肪を突き破り、背骨前の大動脈まで達した〉（同前）。浅沼はまもなく絶命した。

8日後に行われた社会党葬は、冷たい雨の降るなか、2600人余の参列者で、盛大に行われた。会場は、事件と同じ日比谷公会堂だった。会場にベートーヴェンの交響曲第6番『田園』が流れた。浅沼が好んだ曲だった。各楽章に次のような標題が付されている。



Ⅰ田舎に到着したときの愉快な感情の目覚め
Ⅱ小川のほとりの情景
Ⅲ田舎の人々の楽しい集い
Ⅳ雷雨、嵐
Ⅴ牧歌　嵐の後の喜ばしい感謝の気持ち

ラジオで耳にしたこの交響曲は「人生の曲」になった。浅沼の「非業の死」にふさわしい、静かな曲だった。15歳になったばかりの僕だった。

清少納言 九十七

なぜか　うすら寒い

3月になりました。つまりもう春がそこまで来て居るのでしょうが、だからもうすぐ暖かい春の日がやって来そうな季節なのですが、肌寒い気分からは逃げようがないような、そんな気分が去りません。

なぜでしょう。ふと静かにこの毎日をふりかえってみれば、もうすぐなにかイヤな時代が来るような、背中がゾッとするような、裏寒い予感がするのです。何故でしょう。

物価が、どこかでそろそろ上がり始めて来たような、そんな気分。頼りにしていた年金も、どこかへ消えていくような。これ、ひそやかに迫って来ている物価高。物の値段が上がって年金は縮んで行くような。あっ、それだ。ウスラ　サムイと思っていたのはそのセイなんだ、背中が寒くなって来たのは。

この前の恐慌の、昭和4年の。94年前か。そろそろ世界に恐慌が来てもオカシクナイ時が経っていました。ウスラ　サムイ　筈でした。

さてどう切り抜ける？一人の不幸も出さないように。ネオ　でもなく、新しいでもなく、資本主義の本当の姿を見定めて、これに打ち勝つ生き方の、さあその相談を始めましょう。（荒）

読者文芸

てらもと ていみ

春を待つ

撫でて知る二月の猫の
ぽんのくぼ

ところにより交通情報
冴返る

春を待つお天気お姉さ
んのスティック

回遊魚

マスク

むかし冬
今では四季の
歳時記に

年末の
季語に入れたい
タイガーは

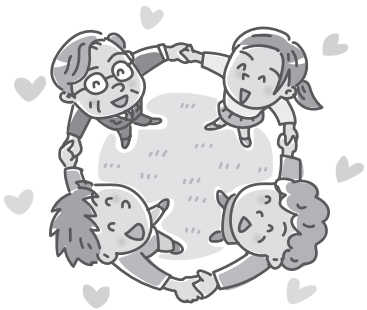
保管にも
輸送も金食う
アベマスク

◆編集後記◆

毎日毎日、いろんな介護のサービス事業所から「コロナ感染陽性者でました」との報告が続々と来ています。デイサービスやショートステイはストップ。では、利用者さんはどうするのか。その対応に追われる日々です。職員さんからは子供が学級閉鎖になりましたとの報告も。3月号が皆さんのお手元に届く頃には落ち着いていたらいいのですが…。

だからいろんな取り組みができなくても仕方がないのかもしれませんが、でも何とかしたいとの思いで紫式部3月号の特集は誌上での「春のつどい」となりました。多くの方が参加者の一人になっていただければと思います。

さて、特集の原稿を書くにあたって平尾先生は、くらしコープの議案書を読み解きながらゼミの学生と研究。学生はくらしコープの議案書を読んでどんなふうに感じたのでしょう。いずれはみんな高齢者になる。くらしコープの活動が若者にとっては未来の自分のことだと思って世代を超えて一緒に何かしたり、交流できればと思いました。「何も出来ない」のではない。また一つ、「何か出来るかも」という課題ができました。コロナ感染症の終息は未だ目途が立たないけれど、「こんなことをしては」のアイデアはどんどんお寄せください。一緒に考えていきましょう。（川畑）



発行　2022年3月1日
京都高齢者生活協同組合くらしコープ
〒603-8232 京都市北区紫野東野町1-5
TEL 075(432)3636　FAX 075(451)6350
kyoto-koureikyo.jp（準備中）
info@kyoto-koureikyo.jp
郵便振替　00910-2-234479

3月29日（木）
9：00～
本部ホール

紫式部　4月号　丁合、発送作業

短時間でもいいのでご協力をお願いします。
※紫式部を配達してくださる方も募集中！

住所変更の際はご一報を！

『紫式部』が宛先不明で戻ってくることがあります。
お引っ越しの際は本部事務局までご連絡下さい。